5-370

家庭学習で知っておきたい機能（2）ジャンプ機能

中学校・高校 / 英語 / 辞書指導 / XD-B4700

最近、家庭学習で電子辞書を使う中高生が増えてきました。彼らは生まれたときから携帯電話やパソコンなどのdigitalに囲まれて育っているため、「使いながら覚える」ことは得意です。
しかし、電子辞書の機能は数多くあり、実際には「教えてもらわないと気づかない」機能もたくさんあります。これらの機能は取扱説明書には書かれていますが、読んでいる生徒は半分もいません。実際、私が行った校内アンケートでは、取扱説明書をまったく読んでいない生徒は58%、パラパラと見た生徒は40%でした。
そこで、「使えば便利なのにあまり知られていない使い方」について、生徒に明示的に指導する必要があります。特に次の3つです。
①成句検索
②ジャンプ機能
③英和は調べ学習に使える

本稿では、②の「ジャンプ機能」の指導例を取り上げます。

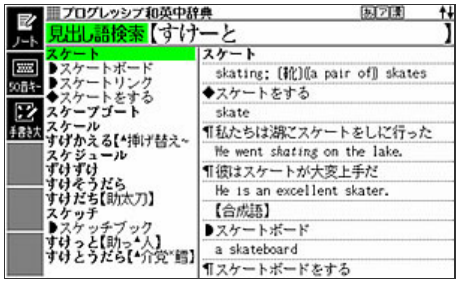
「ジャンプ」とは、画面に表示されている言葉を、別の辞典にジャンプして調べることができる機能です。例えば、「英英辞典」を使っていて、その中に出てきた英単語を「英和辞典」にジャンプして調べることができます。生徒は、案外この機能を知らないので、次のように「英英辞典を使った定義ゲーム（30秒クイズ）」形式にして指導すると、楽しく使い方が定着します。

（1）「30秒ゲーム」の説明をする。

これから「単語の定義当てゲーム（30秒クイズ）」をします。ペアでじゃんけんをしてください。勝った人は、ある単語の定義を英語で読み上げます。負けた人は、その単語が何かを当てます。当てると二人で座れます。実際にやってみましょう。（ペアで役割決定）

（2）「和英辞典」の使い方を教える

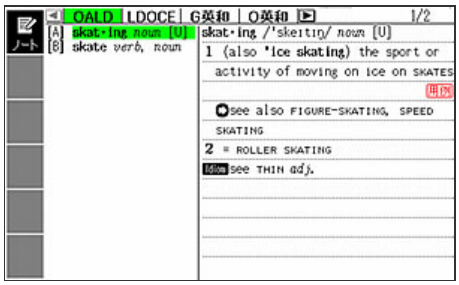
電子辞書を使って問題を出します。まずは、和英辞典です。「見出し語検索」欄に、自分が問題に出したいと思う日本語を入力してみてください。例えば今回は、『冬』に関連する単語を入力してみてください。（「スケート」と入力する）
「スケート」は英語で「skating」、「skate」は「スケート靴（片方）」ということが分かりました。



（3）「英英辞典」に「ジャンプ」する方法を教える

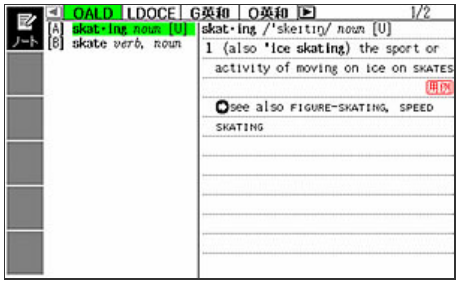
次に、skatingを英語で説明するため、英英辞典にジャンプします。キーボードの左下にある、ボタンを押してください。緑色のマーカーが出てきます。これを「skating」という文字の上に移動させてください。

その上で、「訳／決定」ボタンを押します。すると、次のような画面になります。
英英辞典に「ジャンプ」しましたね。（と言って、実際にやらせると、「すげ～！」「お～！」という声が聞こえる。



（4）英英辞典について簡単に説明する

この電子辞書には、英英辞典が2種類収録されています。OALDとLDOCEです。OALDはオックスフォードの辞書で、約3000語の英語を使って定義してあります。LDOCEはロングマンで、約2000語です。ですから皆さんには、LDOCEの方が簡単な英語で説明してあるのでより使いやすいでしょう。今回は、LDOCEを使います。（画面を見比べさせると、説明の仕方が両者で少し異なるのでおもしろい）



（5）英英辞典の定義を読み上げる

そこに定義してある英文を相手に読み上げてください。例えば今回は、the activity or sports of moving around on skates for fun or as a sportです。相手がその語が何かを当てられたら、二人で座れます。相手がなかなか分からなければ、ゆっくり読んであげたり、カギになる単語を強調したりしてあげるなど、工夫をしてくださいね。では、いきます！（その後、ゲームをする）

まとめ

このように、活動の中で「ジャンプ機能」を教えると、生徒はその機能や便利さを楽しみながら学ぶことができます。なお、英英辞典では、問題に出したい単語がそのまま説明文の中に使われている場合もあります。そういうときは、「その単語が直接出てきた場合は、その単語は読まないで、手をパチンとたたいてください」と言っておくとよいでしょう。

（©e-pros 2012 上山 晋平）